



来週の投資戦略 (8/29-9/2)

分岐点？そうとも言えず

2022年8月28日

小松 徹

注目事項 - 見所

8月31日、7月の鉱工業生産指数 — 前月比マイナス0.5%？
9月2日、8月の米国雇用統計 — 平均時給前年比+5.2%？

株式市場見通し

先週金曜日の「ジャクソンホール会議」での米パウエル連邦準備理事会（FRB）議長発言を受けて、米国株式市場が3%以上下落したことが、土曜日のわが国のトップニュースになっていた。最近の米国株式関係者の一部が来年の米国金利低下を見込んで投資に臨んでいると報じられていたもので、われわれの様な外国人から見ると「そんなあほな」と思っていたら、やはりパウエル氏はそうした楽観論を厳しく戒めた。それ以前に、複数の連銀総裁も警告を発していたので、冷静な米国債券投資家やわが国の株式投資家にはそれほど驚きはないのではないかと。その例として、金曜日の米国株式市場の出来高は通常取引と変わらなかった。米国財務省証券10年物利回りも木曜日の3.03%と同じだった。

とは言え、シカゴの日経225先物は460円下げたので、来週月曜日のわが国の株式市場もその近辺から始まる。これまで上げの主役であったヘッジ・ファンドなどが一転売りに回るようであれば、さらに下落圧力となる。8月19日で終わる週に外国人投資家が先物市場で45百億円買い越し、その前の週の買い越し額12百億円を大きく上回っていた。テクニカル的にも日経225の28,000円割れはトレンドの変化を予兆させる。一方で、過去2カ月近く様子見していた投資家の一部には下がれば買いたい者もいよう。やや早い9月の配当取りを考える時期にもなる。なお、黒田日銀総裁は講演で来年の日本のインフレ率が1.5%に低下するので、現状の金融緩和策を継続すると述べた。

さて、先週火曜日に金融庁が2023年度の税制改正要望に少額投資非課税制度（NISA）の投資上限引き上げと期限の恒久化を求めると報じられた。これは5月に岸田首相がロンドンで講演した「資産所得倍增プラン」の内容に沿ったものだ。金額の増額は認められるだろうが、恒久化についてはKPAは難しいと見ている。財政均衡派の鈴木財務相が受け入れるとは考えにくいからだ。さらに、増額してもほとんど外国株と外国債券への投資に回るので、残念ながらわが国株式市場への影響は大きくないだろう。そうしたことを市場関係者も見越しているせいも、株式市場の反応はほとんどなかった。

最後に来週注目の経済指標は水曜日発表の7月の鉱工業生産指数、ユーロ圏の8月の消費者物価指数、金曜日発表の米国の8月の雇用統計になる。ユーロ圏の物価指数は全体で前年比9.0%、コアで4.1%と予想されている。米国雇用統計では非農業部門雇用者数が前月比29万人増、平均時給5.2%増と予想されている。パウエル発言の延長線で考えると、あまり強い数値は金利上昇から株式市場には不利になる。

KPAの投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。